

平成 2 1 年 1 月 2 1 日

市政記者クラブ 様

環境局地域環境対策部地域環境対策課
主幹(環境影響評価・化学物質) ^{やりたに} 鎗谷 (972-2676)
有害化学物質対策係長 福永 (972-2677)

平成 20 年度地下水の水質常時監視結果について

平成 20 年度の地下水の水質常時監視（概況メッシュ調査 27 地点）において、1 地点で新たに環境基準を超えましたのでお知らせします。

記

1 環境基準を超えた調査地点と超えた項目の水質調査結果

調査地点		井戸水 の用途	調査日 (月/日)	項 目	測定値 mg/L	環境基準 mg/L
1	千種区若水一丁目 (名古屋市立東部医療センター 東市民病院)	雑用水	10/30	トリクロロエチレン	0.21	0.01 以下

測定値は、環境基準に対して 21 倍にあたります。

2 健康への影響の有無

当該井戸水は飲用ではありませんので、これによる健康への影響はありません。

3 今後の対応

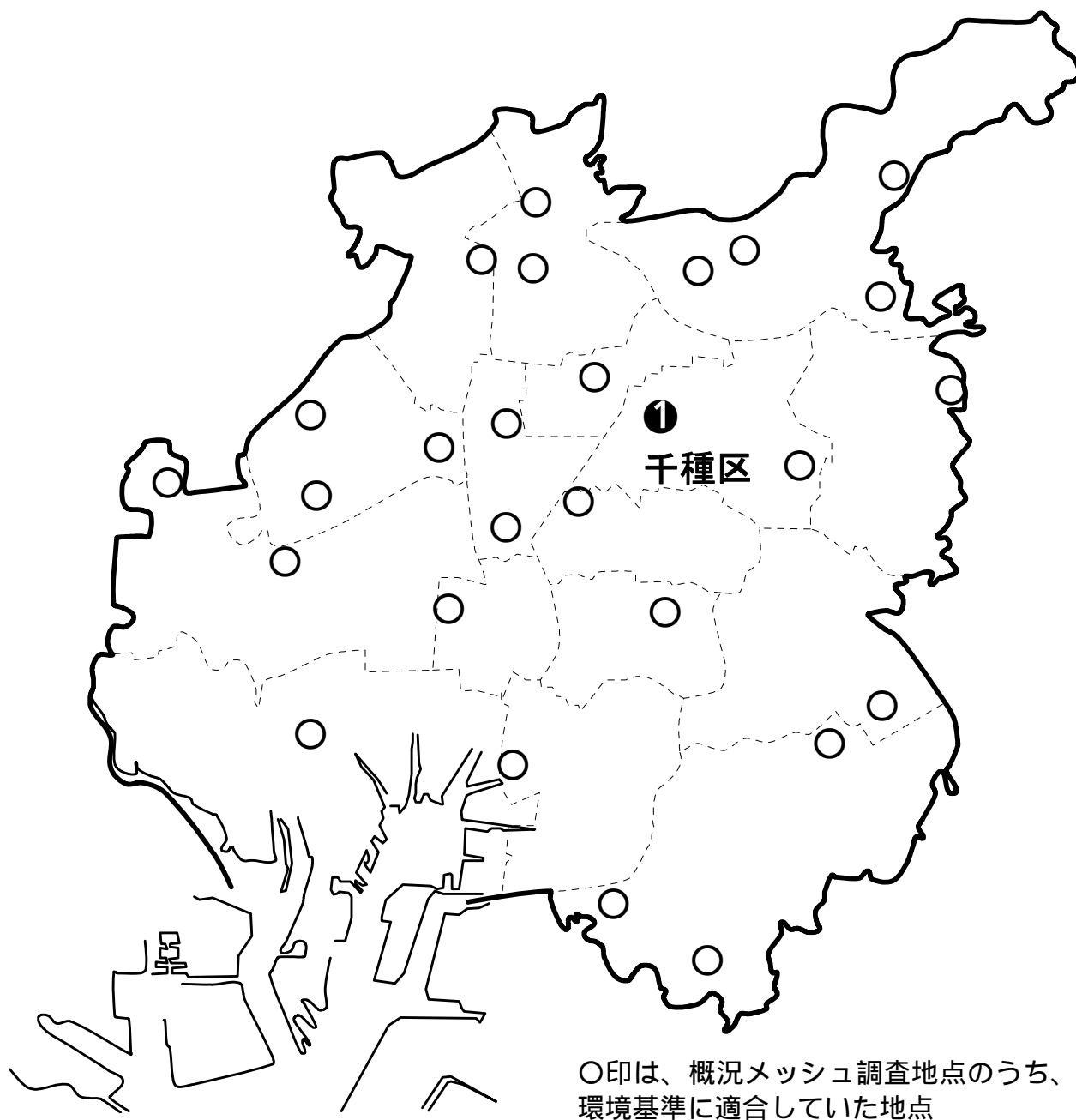
調査地点の周辺 500m では、飲用井戸は確認されておりませんが、念のため、周辺の井戸所有者に対して井戸水を飲用しないよう指導してまいります。

汚染原因の究明、汚染範囲の確認のため、当該井戸周辺の事業場の有害物質使用状況等の調査及び周辺井戸等の水質調査を行います。

また、環境基準を超えた井戸については定期的な監視を行います。

< 参考 >

1 位置図



2 地下水の水質常時監視

地下水の水質常時監視は、水質汚濁防止法第 16 条により、愛知県知事が定めた測定計画に基づき実施しているものです。

概況メッシュ調査は、市域の全体的な地下水質の状況を把握するため、毎年度、27 地点の新たな井戸を選定し、地下水質の測定を実施したものであり、測定項目は、環境基準が定められている 26 項目です。

3 環境基準を超過した物質の毒性について

・テトラクロロエチレン

急性毒性： 急性高濃度暴露では、中枢神経系抑制作用を主としてめいてい感、不快感、めまいなど、さらに高濃度では意識を失う。反復暴露では頭痛、脱力感等を訴え、重症例では不眠、記憶力の低下、手指の知覚低下などが見られる。作業中に暴露した人に、肝、腎、中枢神経への影響が見受けられる。

発がん性： I A R C 2 B： 人に対して発がん性の可能性があるもの

U S E P A B 2： 動物実験では発がん性が認められているものの、人に対する発がん性の証拠は不十分であるもの

出典「改訂3版水道水質基準ガイドブック」